

ふかたせいぞう  
**深田 征三**



どうする  
形だけの総合計画

**質問**  
市は、合併を機に新市まちづくり計画を策定した。また、12月定例会で、第一次豊後大野市総合計画が提案されました。



▲職員を対象にした行政評価システムの勉強会

この基本計画の中では、行政改革を進める手法として、「市民に信頼される行政システムづくり」で、PDCAサイクルの工程における業務改善や、徹底的な行政経費の削減を図り、財政基盤の強化につなげる事が強調されている。しかし、その実効性には疑わしいものが多いと思われる。

したがって、その懸念を払拭するために、ISO品質マネジメントシステムの認証取得を考へてはどうか。

**答弁 企画部長**

合併協議の中で、ISO認証取得はしないが、準じた独自のマネジメントシステムを構築して取り組むとされています。

職員の意識改革のため、今年度よりVE研修など専門的な研修会の開催や派遣を積極的に行います。

また、平成20年度導入予定の行政評価システムで、

市民の視点に立った成果重視の行政運営を実施し、市民満足度の高い行政サービスを提供していくこととしています。

PDCA  
サイクルとは？

計画(P)、実行(D)、評価(C)、改善(A)の工程によって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進する手法。

VEとは？

バリューエンジニアリングの略で、公共工事における「ものづくり」の発想を「価値づくり」に転換し、本来必要とされている機能を重視し無駄を省いていく設計手法です。

あさのみすみ  
**浅野 益美**



県との  
事業連携は  
いかに

**質問**

県道整備と高規格道路への対応は。

**答弁 建設部長**

県道改良は、県土木建築部や土木事務所などへ要望活動を行います。

なお、期成会がある場合は期成会で要望を行います。

事業進捗には用地取得が必要不可欠であり、地元期成会と連携し、関係地区との調整を図ります。高規格道路についても同様に要望し、国土交通省と協力して早期完成に努めます。

**質問**

地域活性化に向けた周辺対策補助金の活用は。

**答弁 企画部長**

合併地域活力創造特別対策事業の実施状況は、市内17件で補助額1308万円です。

たいとう  
台東区との  
ビジョンは

**質問**

友好都市「東京都台東区」との今後の展開はいかに。

**答弁 市長**

東京の中心部にあることから情報の発信や市場開拓の拠点として首都圏にアピールでき、大いに期待できます。

今後は、新たな展開に向け、事務レベルで検討を重ねていきます。



▲浅草雷門は台東区にあります